2026年 新春対談

たたかい続けること。地域にしっかり根ざして。

岩渕友 × 根本敬

農村の原風景と食の原点

岩渕　今日は東京から新幹線で福島に帰って参りました。よろしくお願いします。

根本　岩渕さんには、政府・東電交渉で福島のみんなが本当にお世話になりました。ところが自分は？って今更気がつくけど、お世話する人なんていないんだよね（笑）

岩渕　えー、本当に？だけど…あだたらスクールファームで多くの後進の方々の指導してるじゃないですか。

根本　そういうところではね。でもね、これぐらいの組織でも実務的になってるのよ。魂が入らない。話は変わるけど、友さんが自由な時間を1週間与えられたら何したい？

岩渕　1週間もあったら絶対旅行行くと思います。農作業体験もいいですね、あだたらスクールファームに弟子入りして。

根本　昨日実習日だったけど実に面白かった。首都圏からも来るんだよ。

岩渕　そうなんですか！

根本　あなたの故郷の原風景は奥会津金山町だっけ？

岩渕　はい。金山町で、改めて思い出すと、やっぱり稲刈り。あれが自分の食べてるお米につながってるっていうのを実感しましたね。小学生ぐらいじゃないですか。

根本　農村のそういう原風景を持ってるか持ってないかって大事だね。世田谷に住んでる甥っ子が「明日、田植えに行くんだ」って。そしたらみんなが「田植えって何？」（笑）

岩渕　すごいですね。そんなのなんですか？

根本　「魚って何？」みたいな。切り身は知ってるけど、丸ごとの魚は知らない。そういう農的な体験が、今の国会議員にも足りてないんじゃないの？

岩渕　そうかもしれませんね。提案してみましょうか。みんなで農業体験、いいかも知れない。

中山間地域の危機

根本　本当に条件不利地域で人手不足を解消できるかっていう技術をやらないと。

岩渕　確かに。福島はとりわけ中山間地が多い。農業総生産の4割が中山間地域、日本も。平場だけでは日本の食糧も農業も守れません。

根本　守れないよね。政府はとにかく集約、大規模、AI、ドローンです。そんなの破綻するのは明々白々で、人がいなくなることなんですよ。人がいなくなる農村ってね。熊どころの話じゃない。

岩渕　熊の被害もトドのつまりはそういうことな訳じゃないですか。

根本　秋田でマタギだった人の話を聞いて、昔は村中の人が総出で、熊が出たその時に境界を歩いたって言うんだよ。人間が予防線を熊たちにちゃんと教えるという。

「風の谷」という希望

根本　「風の谷という希望―遺すに値する未来をつくる」って本で、いろいろ共感できる。だけど残念なのはエネルギーどうするんだってなったら、小型の原発開発…。

岩渕　映画「風の谷のナウシカ」もそうじゃないですか。腐海に追われたけど、風のお陰で遺って人類がもう一回生きる…希望はそこにある。

根本　例えば「FEC」、FはフードでEはエネルギー、Cがケアね。助け合い、「共助」。みんなが助け合って生きていく社会が、150人から200人ぐらいの集団ができて…それができればね。

岩渕　なるほどね。みんなで看合えるってことですね。

後継者問題と新規就農者

根本　農を伝えるーむずかしさ。自分の体験としてこんなに農業辛いんだから子供たちはせめて大学出して、いいとこ勤めて給料貰えばいいだろうっていうのが我々の世代は多かった。娘や息子は都会に出て、伝える相手がいない。

岩渕　もったいないですね。自分の子や孫じゃなくてもいい。「青年は農村を目指す」、目指したい青年はいっぱいいるんじゃないですか。

根本　友さんと有楽町の就農案内イベントに行ったよね。我々のところには移住就農希望者が8組来た。

岩渕　ファームに行った？その8組？

根本　そのうちの24歳のMくんが今度お試しツアーに来る。一人でもデカいよ。一人ずつしっかり名前も覚えてる。

岩渕　さすが！そういう青年たちの話聞いてて、今の暮らしに辛い思いしてるんだなっていうのは如実にわかる。この前、二本松の安達農民連で新規就農者に集まってもらったら、東和の佐藤佐市さんのところに弟子入りしてる大学卒業したての女性が来ていた。佐市さんの惜しみなく伝えようとしてくれるところすごいですよね。若い頃から同じ地域で地域をどうするか、地域の農業をどうするか語り合いながらやって来られた。

「芋洗い」で育つ若者たち

根本　青年たちがどう育つかって、一定の数がいての「芋洗い」状態じゃないと。仲間と揉まれながら、そういう環境が作られてないと。

岩渕　いやーなるほど。受け入れ側があって、給与も払って雇用就農でもいい。2年で準備型やって、その後3年。5年で離されちゃうと辛い。やっぱり仲間がいることが大事ですね。

根本　「ヘルプミー」が言えるかどうか。煩わしいかもしれないけど、生きていけなくなるよりずっと楽だよ。

岩渕　県の支援センターは結構手厚いと感じました。認定機関にもっとお金があれば、生活全般を見れるようになって。

根本　そういうところが中核になって、若者が入ってきて農業やろうかなと思った時に一緒にできる地域がね。私はそういうスクールを目指している。地域づくりの中心は女性たちだと思う。若い青年たちとコラボできれば地域が変わる。国会議員ももっと地域に出るべきだろうな。

映画「火垂るの墓」と孤立

根本　さて、今まで見た中で一番好きだった映画は？

岩渕　うわー、難しいけど直近では「陽なたのファーマーズ」。太陽光発電とともに若者の農業への挑戦が描かれていて、福島市のレストランがソーラーシェアリングの下で育てた子牛をみんなで食べるんです。

根本　私は母親大会とか勉強会で「火垂るの墓」を使ってる。

岩渕　あわわー可哀想すぎて観れないですよ。

根本　いやそう言わず。清太と節子はなぜ死んだか…直接の死因は餓死。戦闘で死ぬのは2割、8割が餓死。あともう一つは孤立。社会からの孤立。

岩渕　現代でも追い込まれる要因はあって、孤立せざるを得なかった人がいる。

根本　制作された1988年は「自己責任論」が吹きまくる前。満足に食べられないことがどれほど人を窮地に追い込むか。

アグロエコロジーへ

根本　持続可能な農業、有機農業って言葉が浮いてる。もっと根が深い。農薬や堆肥だけにたよると土が壊れていくだけで持続可能ではない。

岩渕　だから世界の潮流はアグロエコロジーなんですね。

根本　自然とマッチした農業や暮らしのあり方。AIなど先端技術も活用できる。だいたいあなたの反応と一緒で、「火垂るの墓」の話になるとみんな「フー」とか出てくる。可哀想すぎてみたいな。

一人で食べちゃダメ

岩渕　二本松で「陽なたのファーマーズ」を見て、食べ物を作ることの重要さを改めて感じた。いい加減にご飯食べちゃダメだなと。

根本　言いたいのは、一人で食べちゃダメってこと。

岩渕　ええ！私なんて一人で食べてる。一人で食べさせてくださいよ（笑）

根本　人類は一人で食べてたら、これほど豊かな食生活はできなかった。危ないもの食って死んだ人もいる。山菜やキノコ、みんなで食べることで人類は食を大切にしてきた。

今年の抱負と闘う決意

根本　最後に今年の抱負を聞かせてください。

岩渕　参議院農林水産委員会委員になって新しい出会いがあった。すごい農業者もいらっしゃる。そして福島県農民連。原発事故直後からずっと闘っている。毎年国会まで来る団体は農民連ぐらい。私の力の元です。

根本　闘い続ける。続けないと勝ち取れない。

岩渕　国会で私も闘います。

根本　今日はありがとうございました。

PROFILE
岩渕 友（右）
いわぶち とも

1976年10月3日生まれ。福島県喜多方市出身。2016年参議院選挙で比例代表選出。

根本 敬（左）
ねもと さとし
福島県農民連会長

農民連フラッシュ flash

東北農民交流集会in山形

第41回東北農民交流集会が11月26日～27日山形県にて開催され、東北6県から約120名が集まりました。1日目は「日本人は食料を食べ続けることができるか」をテーマに講演が行われ、各県代表者によるパネル討論、夜には懇親会開かれ参加者同士の親睦を深めることができました。2日目は4つの分科会に分かれ、各県の取り組みや課題について話し合い、情報を共有することができました。

あだたら食農schoolfarm お試しツアー

11月15、16日。「福島で暮らそう。そして農業をやろう。」というお試しツアーに首都圏から5名の方々と地元の方々12名が参加。高校3年生が「母とここにきて、土の不思議を実感。土にも興味あるけど、自然の中で暮らす動物たちにさらに興味がわき、いま獣医を目指します。」

オンラインから購入できます！

有機コシヒカリ パックごはん
化学農薬や化学肥料を使用していない有機JAS認証取得のお米です。自然の栄養素がたっぷり含まれた美味しいお米をぜひお楽しみください！

産直農協 新商品きなこ
無農薬・無化学肥料栽培の大豆を使用したきなこです。牛乳や豆乳に入れてきなこドリンクに、お餅やお団子、プリンにかけて召し上がっていただくのもおすすめです！

下記QRコードからご注文できます！
BASE
楽天